

会議名	令和5年度 第1回 大和市青少年問題協議会
開催日時	令和5年6月26日(月) 午後3時30分から午後4時30分
開催場所	大和市スポーツセンター会議室
出席者	古谷田会長、柿本副会長、布施委員、齊藤委員、高島委員、溝口委員、川島委員、丸田委員、前田委員、黒田委員、森委員、大山委員、原岡委員、小川委員、森園委員、岩崎委員、高橋委員 以上17名
欠席者	畠山委員、石井委員、山本委員 以上3名
幹事	樋田子ども部長、新比叡健康福祉部長、服部指導室長、小野大和警察署生活安全第一課防犯少年係長 以上4名
事務局	子ども・青少年課長、子ども・青少年育成係3名、子ども・青少年活動推進係1名、青少年相談室長1名、以上6名
担当課	子ども部 子ども・青少年課 子ども・青少年育成係 Tel046-260-5224
傍聴者	0名
公開の状況	公開
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 会長あいさつ</li> <li>3. 委員自己紹介</li> <li>4. 議題 (1) 令和5年度の主な青少年育成事業について (2) 第51回大和市青少年健全育成大会について (3) 青少年問題に関する現状報告について (4) 青少年育成に関する各団体の取り組みについて (5) その他</li> <li>6. 閉会</li> </ol>
内容	<p>質疑応答等 (○…委員 ●…事務局等)</p> <p>(1) 令和5年度の主な青少年育成事業について (資料1-1、資料1-2、資料1-3)</p> <p>●《子ども・青少年課》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1-1について説明。主な内容については、以下のとおり。</li> <li>・青少年健全育成都市宣言推進事業では、青少年問題協議会を本日含む年2回開催、11月の『子供・若者育成支援強調月間』に合わせ大和市青少年健全育成大会を11月25日(土)に開催予定である。</li> <li>・青少年キャンプ施設管理運営事業では、青少年が野外での活動を通して自然と親しみ、親子のふれあいを深めるために、年間をとおして、泉の森ふれあいキャンプ場を開設している。</li> <li>・成人の日を記念し開催する二十歳の祝典では、今年度の実施予定として、令和6年1月8日(月祝)を予定している。なお昨年度より、民法のうえでは、成人年齢を18歳としているが、県内他市などと同様、「成人式」については、引き続き、20歳の方々を対象に実施を予定している。</li> <li>・親子ふれあい推進事業では、「親子ナイトウォークラリー」を7月15日(土)に開催する。こちらは、目印や記号が書かれた地図を手に、コース中に設けられたいくつかのクイズを解き進みながら、隠されたゴールを目指すという内容である。毎年好評の事業であり、昨年はコロナ禍の影響を考慮しつつ開催を計画していたが、荒天により残念ながら中止となった。今年度は久しぶりに再開できるのではないかと考えている。</li> </ul>

- ・青少年指導者育成支援事業では、「青少年指導員連絡協議会」、「子ども会連絡協議会」、「母親クラブ連絡協議会」の団体に対して補助金を交付しており、団体の活動を支援しながら、大和市における青少年育成事業に対して様々な協力をいただいている。
- ・家庭・地域教育活性化会議支援事業では、市内の9つの中学校区の家庭・地域教育活性化会議に対して補助金を交付している。これらの団体では、青少年の非行防止やパトロールを始め、あいさつ運動や中学生と地域の方々との清掃活動など各地域の特色ある活動を通じて、中学生が地域との関わりの中で健全育成が図れるような事業を展開している。
- ・こども体験事業では、小学5、6年生及び中学生を募集し、東日本大震災の被災地である陸前高田市を訪れるなど実体験を通じて、様々な経験を積む事業として実施している。11月に開催する青少年健全育成大会で活動発表を行う。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況によっては、予定が変更される場合もあるかもしれないが、これらの事業を積極的に推進してまいりたいと考えている。

●《青少年相談室》

- ・資料1-2、1-3について説明。主な内容については、以下のとおり。
- ・基本的な姿勢として、青少年一人ひとりを尊重し、その可能性に焦点を当てて、青少年の健全育成支援に取り組んでいる。
- ・相談の柱は、「子どもを主体とした相談」・「学校問題を生活問題として捉える」・「子どもの未来の可能性を切り開く」の3つを大切に、子どもの共通した課題において環境との相互作用の中で、何が起きているのかを見極め、地域社会との関わりを通して課題の解決を図っている。
- ・事業体系は、相談活動、教育支援教室（まほろば教室）の運営、小学校への教育相談員の派遣、不登校児童生徒支援員の配置、非行防止活動、広報・啓発活動があり、令和4年度には、不登校特例校である引地台中学校分教室の運営が追加された。ここでは入退室にかかわる手続きを行っている。
- ・相談活動について、学校生活、発達障害、いじめ、非行、性格・行動上の問題、対人関係、家庭環境の調整、不登校等の様々な問題がある。これらにスクールソーシャルワーカーや青少年心理カウンセラー、教育相談員などによる丁寧な対応に努めている。相談は、来所相談、電話相談、オンライン相談など様々な形態により、相談者のニーズに合わせて対応している。また、青少年相談室が主催する保護者会を開催している。
- ・令和5年度の青少年相談活動については、青少年相談・街頭補導事業と不登校児童生徒援助事業を柱として実施している。
- ・青少年相談活動では、スクールソーシャルワーカー3名と青少年心理カウンセラーを今年度は1名増員して4名のもと、複雑化する課題に対して専門性を活かしながら、小学校に派遣している10名の教育相談員や、中学校のスクールカウンセラーと連携して相談活動を行っている。
- ・街頭補導事業では、警察のOBである青少年街頭指導員2名を中心として、青少年相談員とともに、駅や公園等を巡回している。学校と連携し、情報を共有しながら非行防止だけでなく、子どもたちが犯罪行為等に巻き込まれないようにしている。
- ・不登校児童生徒援助事業では、不登校の児童生徒に対して学校と連携し、不登校の原因を見極め、早期対応に努めるとともに、社会的自立に向けての対応を行っている。

(2) 第 50 回青少年健全育成大会について（資料 2-1、2-2、2-3、2-4）

●《こども・青少年課》

- ・資料 2-1 について説明。主な内容については、以下のとおり。
- ・内閣府では、毎年 11 月を「子供・若者育成支援強調月間」と定めており、本市においても、啓発事業を実施している。「青少年健全育成大会」もその一環として例年開催しており、今回で 51 回目の開催となる。
- ・主催は、大和市青少年問題協議会、大和市、大和市教育委員会であり、後援については、委員の推薦母体である各団体にご協力をお願いしたい。
- ・開催日時は令和 5 年 11 月 25 日（土）午後を予定している。会場は昨年度と同様に文化創造拠点シリウスのメインホールを予定している。なお、本大会の司会進行には市内の市立中学校の生徒に務めていただく予定であり、生徒のみなさんのひとつの活動機会として提供できればと考えている。
- ・本大会における表彰については、資料 2-2、2-3 に記載しているとおり、善い行いをした青少年を対象とした青少年善行ほう賞、青少年の健全育成に寄与をした大人を対象とした青少年育成活動推進者表彰を行い、また、資料 2-4 に記載しているとおり、小中学校の夏休み期間に青少年健全育成作文として応募した児童生徒の中から優秀な作文を綴った児童生徒を選考し、青少年健全育成作文集「明るくたくましく」に掲載し、作文集掲載者の代表者による作文の朗読を予定している。
- ・なお、青少年善行ほう賞と青少年育成活動推進者表彰については、本協議会で承認を得たのち、教育長を筆頭に、市立小学校長の代表、青少年相談員連絡協議会代表、自治会連絡協議会代表、青少年指導員連絡協議会代表、子ども会連絡協議会代表、母親クラブ連絡協議会代表で構成する表彰選考委員会を 8 月 29 日に実施し、審査を行う予定である。
- ・教育長からの終わりの言葉をいただいて、閉会する予定である。

(3) 青少年問題に関する現状報告について（資料 3-1、3-2）

●《青少年相談室》

- ・資料 3-1 について説明。主な内容については、以下のとおり。
- ・令和 4 年度に受理した相談件数は、電話相談が 240 件、来室相談が 386 件、合計 626 件となっており、昨年度の 644 件より 18 件減少している。ただし、これは新たに相談として受理した件数であり、前年度からの継続を含めると 1,000 件を超える案件に対応していることになる。
- ・相談内容は「性格・行動上の問題」が最も多く、続いて、「不登校」、「学校生活」、「発達障害」、「学業・進路・進学」の順となっている。
- ・「性格・行動上の問題」とは、発達障害などの診断は受けていないものの、コミュニケーションの苦手さや発達の課題を持つ子についての相談である。
- ・「不登校」については、早期の対応が必要であり、学校と連携を図りながら、速やかに課題を整理し、本人の気持ちに即した支援を行う。また、令和 4 年度は分教室の入室を考えての相談もあり、それぞれの状況にあった支援を相談者とともに模索している。
- ・対象少年の学校・職業別状況は、「小学生 62%」、「中学生 25%」でその他、高校生や大学生の相談も受けている。
- ・令和 4 年度の街頭補導件数は 257 件で、前年度 252 より 5 件増加した。
- ・行為別状況は「暴走行為等交通違反」による補導件数 189 件で、73.5%を占めている。

その他、管理施設内における禁止行為については、公園等における自転車等の乗り入れ、スケートボード行為などがある。なお、路上等でのスケートボードの行為については、「暴走行為等交通違反」として計上している。

- ・「飲酒・喫煙」による補導件数は、令和3年度、令和4年度ともに10件となっていたが、令和5年度5月末の時点で、既に12件となっており、今後重点的な対応が必要とされている。
- ・「遊技場出入」による補導件数が前年度同様0件となっている。

○《大和警察署》

- ・資料3-2について説明。主な内容については、以下のとおり。
- ・大和警察署管内の少年非行の概況について、検挙状況は、令和5年4月で14件となっている。これらは、1月～5月の期間で発生した軽犯罪法などすべての刑法犯罪を含めた件数であり、既に事件として取扱いが終わったものを指している。
- ・内容については、窃盗、万引きなどが多い。5月までで84名で、前年度から60名増えている。中高生それぞれ34名、そのほかは大学生などである。
- ・事件の特徴としては、友人関係、友達に誘われてという共犯関係が非常に多くなっている。上述の84名のうち、単独での犯行が33名であるのに対し、残りの51名は、共犯として行った犯罪となっている。
- ・補導状況について、令和5年4月までで492件となっているが、令和5年5月までに644件となる。1か月の間に150件近く増えており、昨年と比べても、316件増えている。
- ・補導の内訳については、深夜徘徊、喫煙が約7割を占めている。増加の理由について、コロナ禍における様々な規制・制限が緩和されて、外に出ることが非常に多くなったためと考えている。
- ・少年の犯罪に対する強制捜査、いわゆる逮捕や捜索は、法律のハードルが高いものである。しかし、このまま放置はしておけないような、悪いことを繰り返している少年も中にはいる。そのような少年に、いい大人になってもらうためには、ここで反省してもらわなくてはならないという考えのもと、4月には中学生1名、高校生1名を逮捕、その他にも少年グループを主導する者の逮捕を行うなどしている。

○質問《森園委員（母親クラブ連絡協議会）》

- ・令和5年度の深夜徘徊が153件とあるが、一番多いのは中学生か、それとも高校生か。

○回答《大和警察署》

- ・手元に資料がないため正確な数値についてはお伝えできないが、中学生、高校生どちらも多くなっている。コロナ禍における制限等の緩和により、出歩く少年が増えている。

○質問《森園委員（母親クラブ連絡協議会）》

- ・深夜徘徊を見つけた場合、どのような対応をとるのか。

○回答《大和警察署》

- ・夜11時以降、保護者の許可なく外にいる少年を補導の対象としている。外出の理由として塾で遅くなった場合などは別として、ただ集まって遊んでいるだけという場合は、その場で子どもたちの身分を確認し、保護者にも連絡する。その場で連絡がつかない場合もあるため、後日連絡となる場合もあるが、保護者にも注意を促すことになる。

(4) 青少年育成に関する各団体の取り組みについて

○《黒田委員（青少年指導員連絡協議会）》

- ・新型コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、例年の活動が少しずつ戻りつつある。5月に開催された大和市民まつりでは、中高生のボランティアを募集し、青少年指導員コーナー、ゲームコーナーとして開催した。両日とも雨となってしまったが、たくさん子どもたちでにぎわいが見られた。ゲームについては、ボランティアの生徒がすべて考案・企画・制作したものを青少年指導員が手伝い、開催するというものである。同様の催しを12月の青少年センターまつりでも実施する予定となっているが、昨年度の青少年センターまつりの様子を本日配付した「青少年指導員だよりわかくさ」の一面に掲載しており、今年も同様に開催したいと考えている。
- ・また、7月15日（土）に親子ナイトウォークラリーの開催を予定している。コロナの影響についても油断はできないところであるため、今年も表彰式及び飲食提供なしでの開催とする。募集人数に対しての応募者数が多くっており、後日抽選会の実施を予定している。
- ・また、広報誌「わかくさ」にて、自治会やスポーツ振興会、社会福祉協議会などのさまざまな団体との協力のうで実施している地区ごとの活動を紹介している。「わかくさ」を年に一度はカラーで発行したいというのが、広報部会からの希望だが、予算の兼ね合いもあるため、実現できていない。

○《森園委員（母親クラブ連絡協議会）》

- ・母親クラブ連絡協議会は、令和4年度に創立50周年を迎えたことから、それを記念して記念大会を3月に開催し、大勢の会員や関係団体の皆様、来賓の皆様にご出席いただいた。この場を借りて感謝を申し上げる。
- ・青少年健全育成を掲げ、母親をクラブ会員の対象として活動してきた。大和市において女性だけの団体として、50年活動を続けてきた重みがある。母親クラブは、井戸端会議という形から始まったが、時代が変動する中で、これからどのような形で私たちの活動をつなげていくかということが課題になる。是非、子どもたちの思いをくみ上げながら、現代に沿った歩みができるよう皆様と検討しながら推進したい。
- ・お手元に50周年記念誌をお配りしている。50年間の活動写真も掲載しており、私も含め、皆さんの気持ちのこもった記念誌となっている。今後もどうかよろしくお願いしたい。

○《小川委員（大和市子ども会連絡協議会）》

- ・コロナ禍で、約3年間、地域の子ども会の活動もあまり活発にできない状況が続いていたが、今年度は、夏祭りをはじめ、いろいろなところで地域の活動が復活するというので、たくさん子どもたちの笑顔が見られるのではないかと楽しみにしている。
- ・大和市子ども会連絡協議会としても、4年ぶりに今年9月に「子ども会かるた大会」を開催する予定である。大会で使用するかるたは、子どもたちが、大和市について考えながら、自分たちで読み札と絵札を考案し、手作りしたものを使用する。

○《森委員（青少年相談員連絡協議会）》

- ・お手元にお配りした大和市青少年相談員連絡協議会のチラシとクリアファイルをご覧いただきたい。コロナ禍において配布の機会がなく、長らくお披露目できなかったが、

今年度、大和市民まつりのブースで配ることができた。子どもたちをはじめ「かわいい」「わかりやすい」と好評だった。イラストとともに掲載している相談先は、相談したいことがあれば、すぐに電話でつながることができる、相談してくれたお子さんの気持ちに寄り添える場所として掲載しており、日常の身近なところ、目の届くところ、手元に置いておいて欲しいという思いで、何年もかけ作成したチラシとクリアファイルを配布できたことはとても嬉しいことであった。

○《高橋委員（大和青年会議所）》

- ・「子供から健康都市スポーツ事業エクスポ2022」と題して、昨年10月にスポーツイベントを開催した。昨年はまだコロナ禍にあり、外出できるイベントなどがない中、子どもたちに外での遊びや運動をしてほしいという思いから、大和青年会議所と大和商工会議所青年部との共催で実施した。本イベントには、サッカーのような身近な競技から、普段できないような競技も含め、16種類のスポーツを体験できるというもので、約1,000名のご参加があった。これをきっかけに、キックボクシングを始めた、あるいは空手を始めたということも聞いている。
- ・今年も10月に開催をさせていただき予定で、大和商工会議所と打ち合わせを行っている。詳しい日程等の詳細が決まったら、各小学校などにもチラシを配布したい。皆様にもご協力いただきたい。

(5) その他

●《こども・青少年課》

- ・資料「その他」について説明。
- ・令和5年度神奈川県青少年育成活動推進者表彰候補者の推薦について、県内で青少年育成活動にご尽力された方を本市の青少年問題協議会として推薦していただくものであり、令和6年2月に実施されます、県の青少年育成活動推進者表彰において表彰していただくものである。例年、事務局のこども・青少年課において、事務対応を行った後、本協議会会長の決裁を受け、県へ報告している。今年度も例年同様に事務を進めていく。
- ・第2回青少年問題協議会については、10月の上旬を予定している。